

令和4年度 公共事業再評価

急傾斜地崩壊対策事業：8事業

番号	事業名	箇所名	代表説明事業
17	急傾斜地崩壊対策事業	てらのわき 寺の脇	
18	急傾斜地崩壊対策事業	ぎよだやま 行田山	
19	急傾斜地崩壊対策事業	あおばいひわしたB 青羽根岩下B	
20	急傾斜地崩壊対策事業	ままのうえA 壺之上A	
21	急傾斜地崩壊対策事業	おおくぼ 大久保	○
22	急傾斜地崩壊対策事業	よこすなおおひらやま 横砂大平山	
23	急傾斜地崩壊対策事業	だいたくじ 大沢寺	
24	急傾斜地崩壊対策事業	いずもと 出本	

交通基盤部 河川砂防局 砂防課

事業箇所位置図



交通基盤部 河川砂防局 砂防課

位置図



大久保の事業概要

事業名：大久保急傾斜地崩壊対策事業

事業期間：平成25年度～令和6年度

全体事業費：526百万円

全体延長：延長429.7m

事業内容：重力式擁壁工 延長220.6m

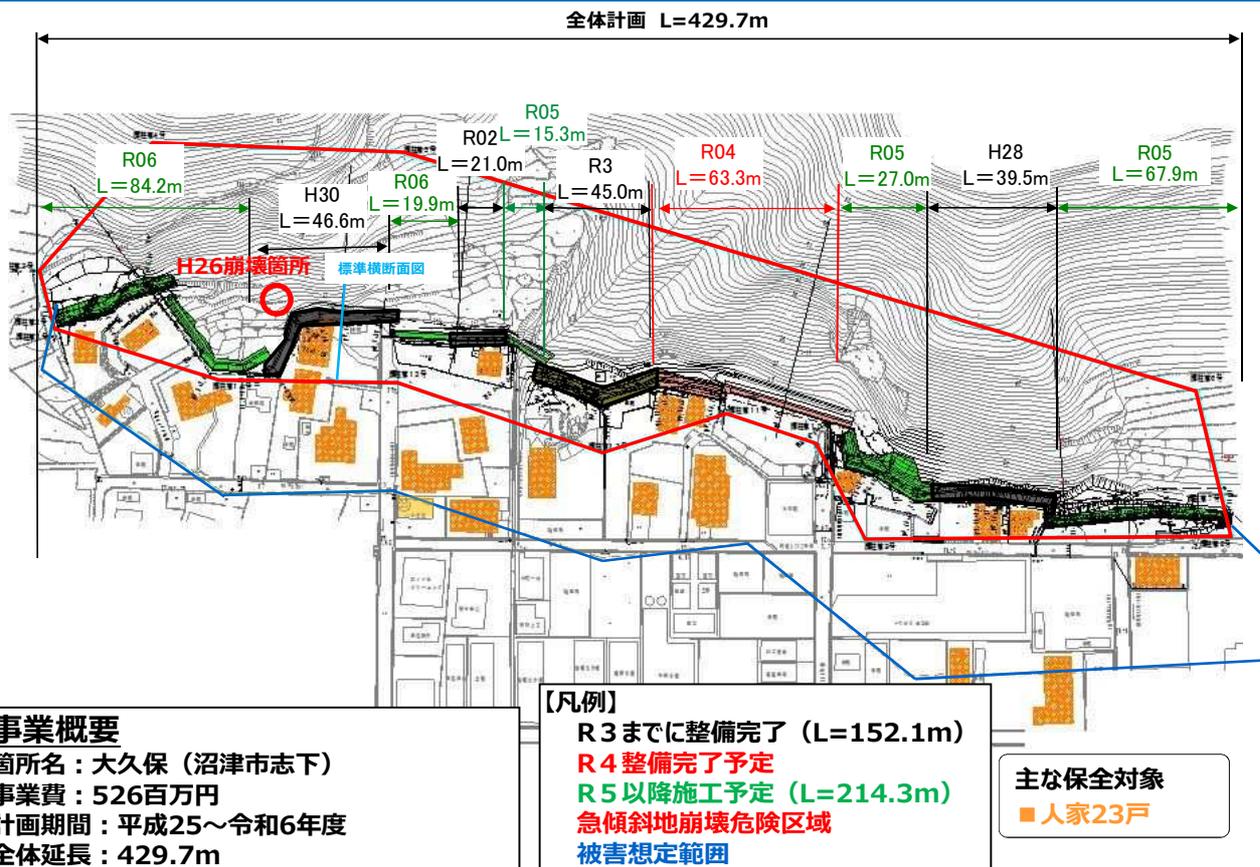
補強土壁工 延長138.0m

張コンクリート工 延長71.1m

保全対象：人家23戸

市道4392号線 等

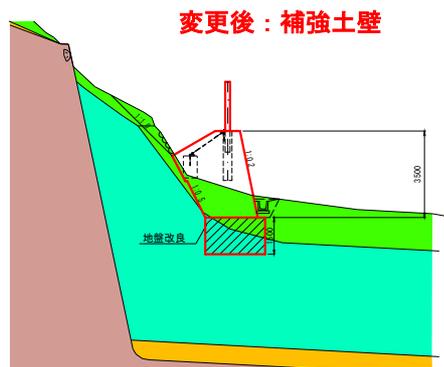
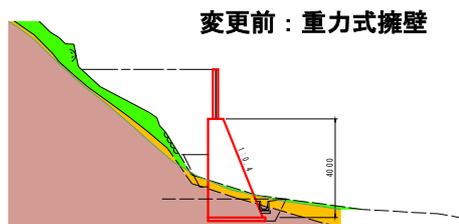
大久保の事業概要



大久保の事業概要

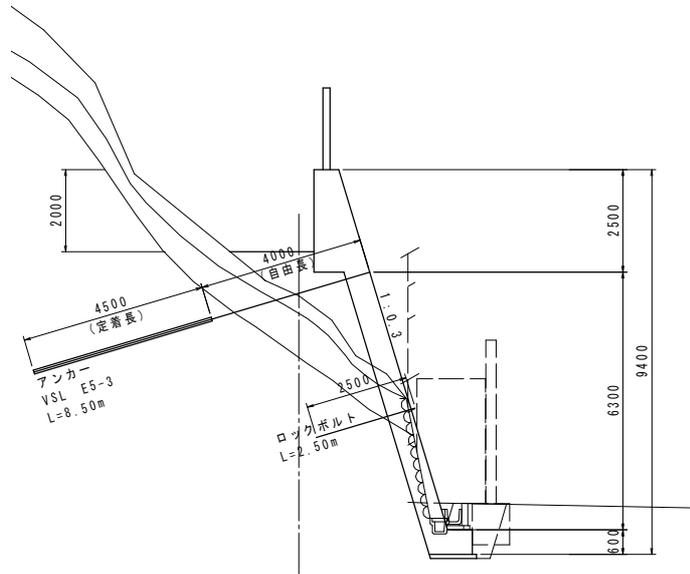
前回からの変更点・理由

	前回 (H29)	今回 (R4)	主な変更理由
①計画期間	H25～R3	H25～R6 (+3年)	・地質調査を追加した結果、想定以上に地質が脆弱で、工法の変更が必要となったため、完了年度を延伸した
②全体事業費	300百万円	526百万円 (+226)	・地質調査を追加した結果、想定以上に地質が脆弱で、工法の変更が必要となったため、事業費が増大した



施設の整備状況と今後の課題

標準横断面図



張コンクリート工



事業の必要性

大久保全景写真



人家が斜面に近接しており、
過去に斜面崩壊も発生している

斜面上の崩壊

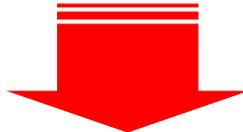


平成26年台風18号で
発生した崩壊

事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益 (B)	総費用 (C)
総便益 34.86億円 □直接被害 ・家屋被害、道路被害、人的被害 □間接被害 ・精神的被害	総費用 5.70億円 ・建設費 ・維持管理費

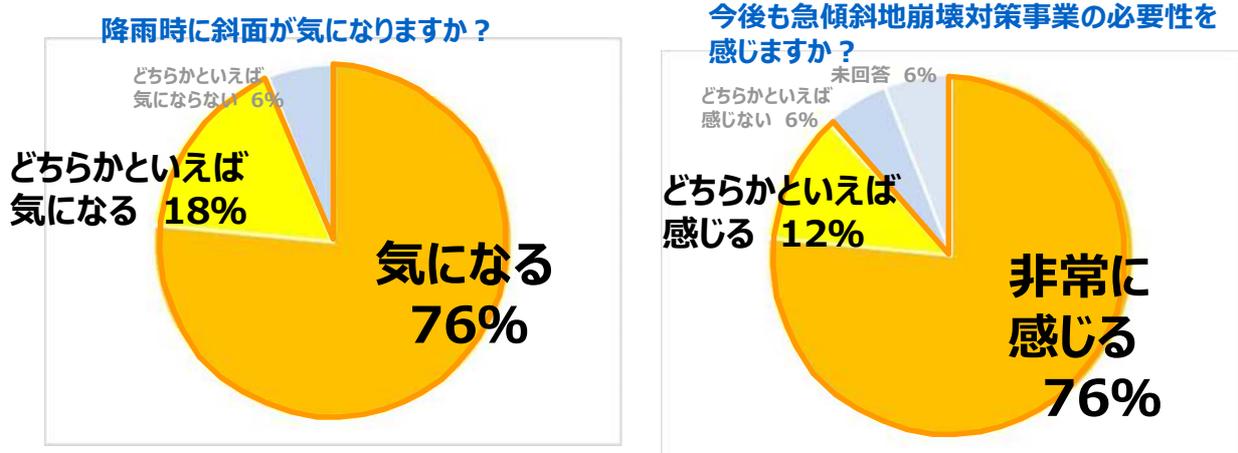


費用対効果(B/C):6.1 経済的内部収益率(EIRR):14.1%

前回の費用対効果(B/C):2.4
急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）R3.1改定に伴い、精神的損害額を計上したことにより増加

今後の事業の進捗の見込み

事業に対する地元からの要望は強く、用地取得や借地などの地元調整は円滑に行われており、今後も事業が順調に進捗する見込みである。



新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

- 現場発生土は、補強土壁工等への使用を検討

◎本事業は

- 急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。
- 近年、県内でも甚大な土砂災害が発生している。
- 費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれる。



事業を継続する。